

令和元年9月定例会 議会傍聴ダイジェスト

(予定)令和元年9月10日(火) 10時より

江西照康 持ち時間45分 一問一答方式

ケーブルテレビ生放送&インターネット生+録画は17日(火)

また、森市長が現在の任期の満了をもって退任の意向を発表しました。現在の富山市は、森市長の発想と行動力によって独創的な政策運営を行っていますから、今後大きな変革が起ることでしょう。

私の目から見ると、森市長に取って代わるほどの人がいるのだろうかとか少々心配になってきま

また、SDG、S等の世界の政策の潮流に先んじてきたことも同様で、今後激しくなるであろう都市間競争に先行者利益をもたらすことでしょう。

議会質問は、ケーブルテレビとインターネットで生中継されます。インターネットでは、数日後録画もアップされます。バーコードをスマホで読み取っていただくことができます。



| 令和元年9月補正予算案の概要 | | 単位:千円 | |
|----------------|-------------|-----------|-------------|
| | 補正前 | 補正額 | 補正後 |
| 一般会計 | 165,156,695 | 2,628,710 | 167,785,405 |
| 特別会計 | 131,101,795 | 1,205,908 | 132,307,703 |
| 企業会計 | 47,470,096 | 16,400 | 47,486,496 |
| 合計 | 343,728,586 | 3,851,018 | 347,579,604 |

補正予算

市議会会派自民党
076-443-2152

江西照康

9月補正は、幼児教育・保育無償化に伴うもの、シルバー人材センター建設費補助、基金積立が主なものです。

また、小中学校のトイレの100%様式化の債務負担行為なども審議されることになっています。

本紙作成にあたり(議会新聞、議会傍聴ダイジェスト各1号より)政務活動費は一切使用しておりません。

現在の政務活動費の運用指針においても、個人の発行する広報紙は再選活動の一環とみなされる恐れがあることから、使用できないことになっています。

12番江西照康



市議会会派自民党
副政調会長
経済環境委員長
議会改革検討調査会座長
議会運営委員会委員
政務活動費あり方検討委員会委員

今年の夏は、特別暑いと思っていたのですが、朝夕はめっきり秋の気配が漂ってきました。

6月議会終了時に、木下議員問題が発覚し、またもや富山市議会が不名誉な話題を全国に振りました。これにより、議会活動ではバタバタしただけの夏をした過ごしたような気がします。

以前は自分自身もそう思っていたのですが、街中への資金投入は呼び水の様なもので、多くの資金は、国や県、そしてこれらの政策が成功するであろうと考えて自らの資金投入を行ってきた民間資金によるものです。

これにより、富山市は今のところ魅力ある街としての評価を、若者や県外からも得て、都市間競争力を増してきています。

議会改革検討調査会 8月19日

6月定例会議会において、議員の政治倫理に関する条例制定の請願が木下、上野議員が紹介議員となり提出され、継続審査となりました。

倫理条例とは、議員としての倫理観を明確にするものですが、本来なら、そんな条例を制定しようがしまいが当たり前の話で、議論するのも恥ずかしい話です。

ところが、件の木下議員がこのような事件を起こし、議会事務局の女性に見つかった



倫理とは何か?

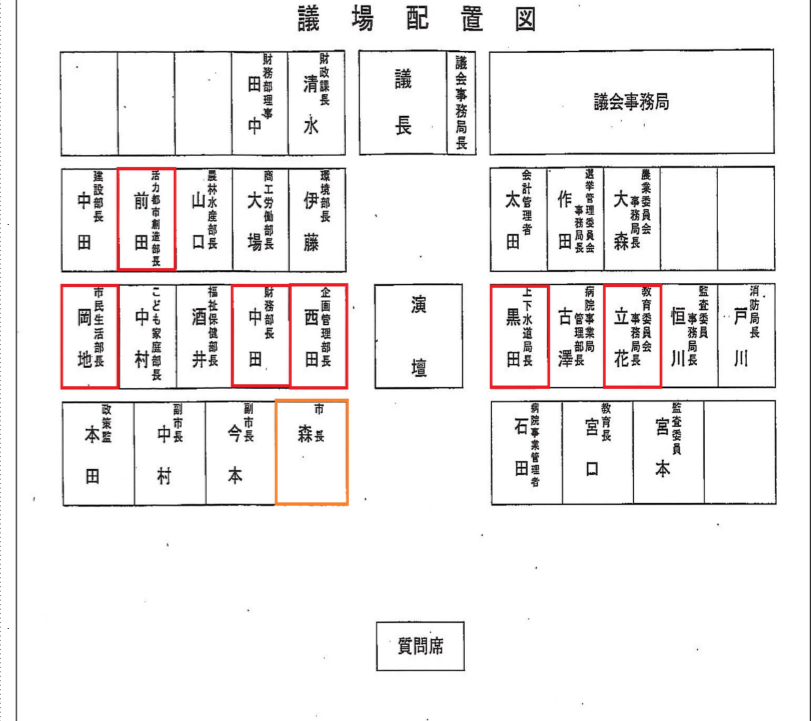
今、富山市議会では倫理的におかしいと意見の割れ

あとで、「政治倫理条例制定の請願」の紹介議員になっていたことが判明しました。私たちが他の議員は、この事件をその後の議運で取り上げられたことから知ったわけですが、この問題以前の、メール問題や、深夜入庁、無人事務局への立ち入りなども明るみになりました。

日頃、正義や倫理を声高に主張しても、その矛先が仲間に向けられると、別人かと思うほど守ろうとする。

いろいろと考えさせられる調査会でした。

私の質問への回答者予想



見ていられる質問を目指して

私の質問はよく尻切れトンボになります。もう少し上手くやらねばと思つのですが、想定外に長い回答にどう対処するかが一番の課題だと思っています。

私は議会の質問と回答ほど、市民感覚を外れて効率の悪いものはないと感じています。この議員は何を訊き、当局は何と回答したのか。これが問題として出題されたら、正解できる人は少ないと思います。

質問には、一括質問と一問一答方式がありますが、一括質問の場合、いくつかある質問を最初に読み切り、市長を筆頭に順次回答が続きます。

質問の中には、その背景や数値が念入りに語られ、文面としては大変スマートで、議事録を読む場合は、この一括質問の方が断然スマートです。しかし、訊いている方は、集中力が持ちません。

最近はこの傍聴ダイジェストを作ることが目的化してしまい、どんどん読みづらくなってきたという反省から、今回は少し短めに纏めてみました。

本議会傍聴ダイジェストは、未熟な私の質問のサブ資料です。私の問題意識を自分なりに整理して記載しています。少しでも、質問の主旨が皆さんに伝わればと思っています。



今回の質問は、①合流式下水道について②自治振興会とのかかわりについて③公共工事の入札についての3問です

①合流式下水道について

8月17日、東京五輪・パラリンピックに向けたテスト大会パラトリアスロンが、本番会場であるお台場海水公園で行われたが、水質検査で基準値を大幅に上回る糞便由来の大腸菌が検出された

ため、スイムが中止されランとバイクの2種目によるデュアスロンに変更されたということである。その理由は、前日の雨により大量の生活排水の汚水が海に流れ込んだことによるもので、合流式下水道という、下水道の構造によるものである。実は、この合流式下水道は、ある程度の都市に多く、富山市も中心部は合流式下水道の仕組みをとっている。

合流式とは汚水と雨水を一つの管で排除する方法

前日の大会でも、選手からはトイレのような臭さと散々な評判であったとのことであるが、雨によりオーバーフローした汚水がまた溶けぬトイレットペーパーとともに東京湾に大量に流れ込んでいたのであるから、散々な会場である。

平成14年、このお台場の水質汚濁が契機となり、国により、全国の合流式下水道に緊急改善事業が

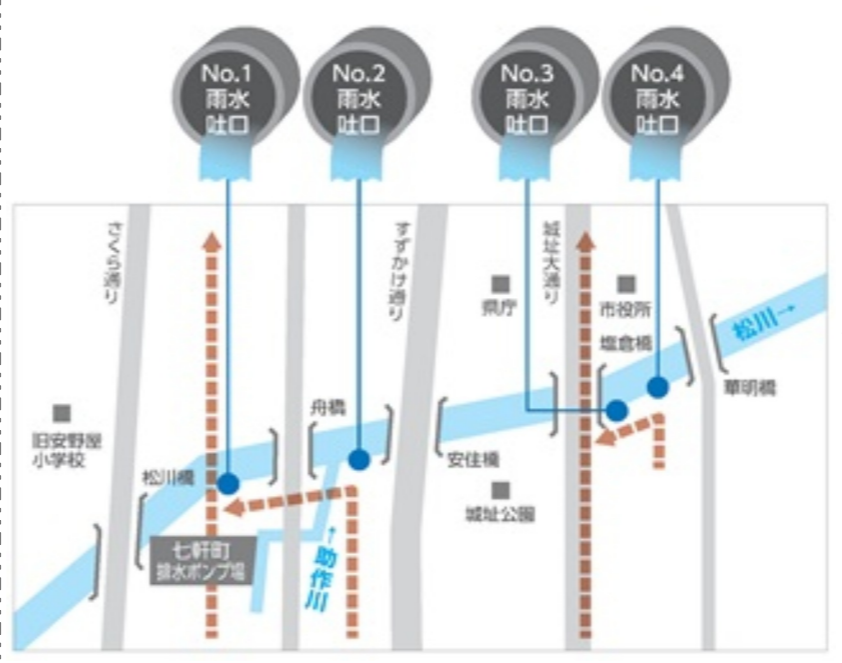
②自治振興会とのかかわりについて

平成の大合併から十数年が経過し、時代は令和となった。

現在富山市には79の自治振興会がある。内訳は旧富山市50、旧大沢野5、旧大山4、旧八尾9、旧婦中8、旧山田1、旧細入2であるが、それに対応する地区センターの職員構成と自治振興会へのかかわりが微妙に違うのである。

旧富山市の50の自治振興会には自治振興会が雇

創設され、富山市も合流改善対策が義務付けられた。平成25年には概ね目的が達成されたが、更なる対策として、松川貯留管を平成30年に整備している。これは、浸水対策と汚水対策の双方を行うものであるが、浸水対策を中心に語られてきた。汚水についてはあまり触れないことからタブー視されてきたのかもしれない。



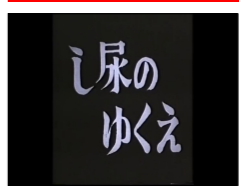
松川貯留管の汚水対策としては、松川に4カ所の雨水吐口（汚水も含まれるのに雨水という表現やいかに）から放水されるファーストフラッシュ（雨水オーバーフローの

自治振興事務補助金と地域振興活動補助金

用する財政援助職員に対する人件費補助として『自治振興事務補助金』が交付されているが、旧富山市以外の地域の29団体には交付されていない。また、旧富山市の50団体に交付がなく、旧富山市以外の地域の団体に交付されている補助金として『地域振興活動補助金』がある。とそれぞれの補助金が説明されているが、現実には違う。地区センターに勤務す

る職員数には殆ど差がないのである。自治振興事務補助金の交付は、旧富山市の50の自治振興会が採用する職員の給与を市が自治振興会に補助する形の、財政援助職員であるのに対し、それ以外の29地区センターでは、市が採用する職員で構成されている。ただそれだけの違いである。そして、財政援助職員の待遇は余りよくない。旧富山市以外の29の地区センターの方が安定した職員構成である。

下水道が普及するまで



昭和30年代に厚生省が監修し作成された『し尿のゆくえ』は衝撃的な映像映画である。これによると、昭和33年度末で、下水道処理施設があるのは全国で60か所しかなく、早急に整備しなくてはならないと訴えている。（富山市は昭和27年）



当初は、既に農家が肥料として利用するシステムが崩壊しており、首都圏に近い下町でも街中に、行き場を失った肥桶が集積され、農家に向かうことのない舟に穴をあけそのまま垂れ流したり、船に積んで海洋投棄されていたようである。その為、食中毒やチフス、赤痢等が蔓延しており、そんな状況から脱出するために、下水道を整備しようというものであるが、それが合流式下水道である。合流式下水道はいわば60年前の最新設備なのである。



最初に汚物濃度が高くなること）に対応するものであるが、設置から1年経過していることから、その効果について検証するとともに、今後の方針を問うていきたい。

③公共工事の入札状況について

氷見市で来年4月に開校する義務教育学校の『西の杜学園』の校舎整備の目的が立たない状況に陥っている。理由は工事入札の不調であり、応募する建設事業者がいなかったためである。この事案は決して対岸の火事ではない。県内では数年前から、入札の不調が発生している。それが注目を引く施設かどうかで、富山市でも今年度の直近7月の入

業者同士で話し合うことは談合として、厳しく処罰されるものであるが、このような専門工事に安易に価格競争ではない、プロポーサル方式をとることに果たして問題は無いのであろうか。また、深い知識を持ち合わせているわけではないが、一度このあたりで問題を提起しておきたい。

また、最近では公共工事の発注方式に、所謂PPP方式が増えつつある。政策としても富山市は積極的に行うこととしてきているが、議会側はその仕組みを十分に理解しているとは言い難い。同様に、プロポーサル方式により業者選定を行うことも始めており、本定例会において審議される、小中学校の様式トイレ化もプロポーサルで業者選定を行うようである。

PPP、PFI 変化する発注・契約方式

また、最近では公共工事の発注方式に、所謂PPP方式が増えつつある。政策としても富山市は積極的に行うこととしてきているが、議会側はその仕組みを十分に理解しているとは言い難い。同様に、プロポーサル方式により業者選定を行うことも始めており、本定例会において審議される、小中学校の様式トイレ化もプロポーサルで業者選定を行うようである。



| 最近使われる横文字解説 | |
|-------------|--|
| PPP | パブリック・プライベート・パートナーシップの略で官民連携のこと |
| PFI | プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略で、公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用すること |
| SPC | スペシャル・パーパス・カンパニーの略で、文字通りPFIの為の特別目的会社 |
| プロポーサル | 目的に合致した企画を提案してもらい、その中から企画・提案能力のある者を選ぶ方式 |